

## 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡崎校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数に加え、指導員を 1 名以上（常勤換算による算定）配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		玄関に段差はあるが、改善は困難である。屋内においては、段差はない。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃・安全点検・換気・加湿・消毒などを実施している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		業務に関する各種会議（掃除・防災・感染症）を定期で実施している。	非常勤職員など会議に参加できない場合は、会議録にて周知を図る。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		定期的に保護者面談を行い、意向を把握、業務改善をしている。	開所 1 年目のため、今回が初。ご意見をもとに改善に繋げていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			開所 1 年目のため、今回が初。ご意見をもとに改善に繋げていく。定期的な保護者面談にて意向を把握し、業務改善に繋げている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		自社の他事業所と合わせ、今後検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月 1 回の事例検討会を実施、外部研修に参加するなど、資質向上を目指している。	
適切な 支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		ニーズを把握し、関係職員する職員で話し合い、計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		社内で統一したアセスメントシートやプログラム(NC、SDQ)を使用している。	

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに沿って支援を行っている。	1事業所に留まらず、地域支援など拡大を図っていく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		具体的でわかりやすい計画設定にしている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		複数職員で担当する場合は、専門性が求められる場合は、チームで取り組んでいる。	全体で継続的には行われるシステムを構築していく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		フィードバックの際、保護者様のご要望を伺っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別療育であるため、個別活動を重点的に行っている。	集団療育を併用している利用者については、事業所ごとのニーズをしっかりと把握し、役割分担を行う。集団活動のニーズがあるか、再度調査を行う。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝の打ち合わせで確認を行っている。	非常勤職員など打ち合わせに参加できない場合は、今後も会議録を閲覧し周知を図る。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		情報共有を行っている。緊急性のない場合は、翌朝の打ち合わせで確認を行っている。	非常勤職員など打ち合わせに参加できない場合は、今後も会議録を閲覧し周知を図る。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録、業務日報など記録を残し、次に繋げている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に話し合いを行い、見直しをしている。	
	関係機関や保護者との連	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	○		各担当者が参加し、それぞれの立場から専門性を活かし話し合いを行っている。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		電話や書面(利用計画・会議録)などで情報共有を図っている。	母子保健はないが、各関係機関とより連携を深めていく。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			重症心身障害の受け入れはないが、他機関等との密な連携が取れるよう、今後検討していく。

携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○	主治医や医療機関の検査結果を把握するようにしている。必要に応じて、事業所からの報告書も提出している。	重症心身障害の受け入れはないが、ご家族を通じて医療機関と連携を図っていく。
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		開所1年目のため、年度末は今回が初めて。保護者の意向に合わせて移行支援を行う。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		開所1年目のため、年度末は今回が初めて。保護者の意向に合わせて移行支援を行う。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	研修、見学の機会があれば参加している。	定期的な実施ではない。今後、拡大を検討していく。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		保護者の意向を確認し、今後、拡大を検討していく。

保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	研修、見学の機会があれば参加している。	支援員の参加など、拡大を検討していく。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	フィードバックの際、保護者様のご要望を伺っている。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	保護者からの要望に応じて行っている。	保護者の意向を確認し、今後、拡大を検討していく。
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約の際、保護者と書面の読み合わせを行っている。質問にも適切にお答えしている。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	新規・更新を定期的に行っている。計画については、事前に説明をし、同意を得てから支援を開始・継続している。	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	相談に応じて必要な助言と支援を行っている。	
③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		個別療育であるため、保護者の意向を確認し、ニーズがあれば検討していく。	
③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、	○		相談に応じて迅速かつ適切に対応している。	

		相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している				
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログや掲示板、会報などを通して、活動内容やスケジュールを伝えている。	会報の更なる活用を目指していく。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報は鍵付き書庫で管理している。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的な補助など、十分な配慮ができています。	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		個別療育であるため、保護者の意向を確認し、ニーズがあれば検討していく。
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを整備し、定期で会議・訓練を行っている。保護者への周知も実施している。	
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間スケジュールを作成し、月1回以上の訓練を行っている。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約・更新時に把握している。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約・更新時に把握している。	食事提供なし。現在アレルギーのある利用者もなし。配慮がある際は指示書を提示いただく。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例集を作成し、原因と対策の情報共有を行っている。定期で見直しを実施している。	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		月1回以上の研修を行っている。	更なる研修機会を、同社他事業所と検討中。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束について取り決めをし、保護者了解のもと、必要書類に記録を残している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡崎校 保護者等数(児童数)：6 回収数：5 割合：83.3%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	1				ガイドラインに沿って支援を行っている。1 事業所に留まらず、地域支援など拡大を図っていく。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	1				同じプログラムにおいても、アプローチや目的が違うことを丁寧に説明していく必要がある。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	1	1		保護者からの要望に応じて行っている保護者の意向を確認し、今後、拡大を検討していく。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5					

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	1		1		相談を拾えていない可能性がある
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	1	2		個別療育が軸ではあるが、保護者の意向を再確認し、必要に応じて、連携を検討していく。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	1				苦情・相談に応じて、迅速かつ適切に対応している。しかし、水平展開して、新たな問題の予防まで広げていく必要性を感じている。今後に生かしていく。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3		1	1		ブログや掲示板、会報などを通して、活動内容やスケジュールを伝えている。開所1年目のため、自己評価の公表は今回が初めて。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5					
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3			2		マニュアルを策定し、掲示やお便り、口頭での説明を通して、保護者様に周知している。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			1		年間スケジュールを作成し、月1回以上の訓練を行っている。
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	5					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。